



多胎育児支援活動

「ツインズマーケット」

杏林大学保健学部看護学科看護養護教育学専攻

場家美沙紀 太田ひろみ 佐々木裕子 鈴木朋子 山内亮子

背景

多胎育児中の保護者は、同時に複数の子どもを育てる中で多様な困難感を抱えている。睡眠不足や疲労、育児期の外出困難な状況により育児情報の入手も困難であることなどから、孤立感や育児不安感を有しており、多胎児の親が安心して育児期を過ごせるような環境や情報を提供していくことが望まれている。

活動の目的

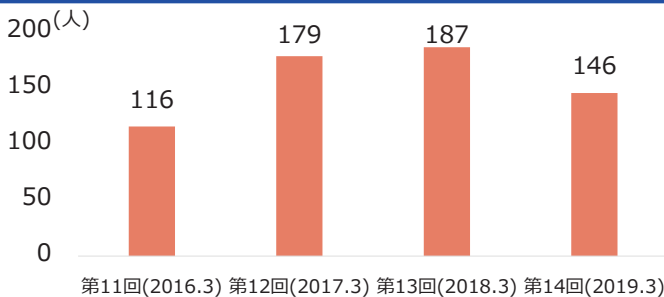
本活動の目的は、ふたご・みつごを育てている家族が多胎育児に関する情報を得たり、多胎児特有の不安や問題を解決する機会を得ること、ならびに多胎児の親同士の交流の場を提供することである。

方法

年に1回(3月)に「ツインズマーケット」を開催し、講演会、交流会、バザー等を行う。学生は子どもたちの保育を行う。今年度の開催で15回目となり、大学と地域が連携して行っている活動であるとともに、八王子市や三鷹市の育児支援団体、地域の多胎育児を行っている先輩保護者の協力を得て開催している。

今年度は、2020年3月7日に開催予定であり、講演会では、昨年度開催時に参加者から要望のあった高校生・大学生に成長したふたご当事者に体験談を話していただく予定である。

参加者の推移



今年度のプログラム(2020.3.7開催)

13:15 開会・オリエンテーション

13:20～ 講演会
『ふたごに生まれて～ふたご当事者の思い～』

14:30～ 情報交換・フリートーク

16:00 閉会



その他：バザー、子どもいけばな体験、防災に関する展示等を予定

参加者の声(第14回参加者)

講演会「ふたご・みつごのことーふたごを育ててー」
ツインズマザースクラブ 杉浦祐子先生

◆ 講演会の感想

- ・同じものをあげれば満足というのは親が思うことで、子どもは自分の好きなものを貰えれば満足ということはなかなか気付かなかったです。
- ・実際に子育てされた経験が伺えて安心感が得られました。



◆ 全体を通しての感想

- ・講演会、フリートーク、バザーと貴重な時間でした。
- ・たくさんの素敵な先生たちと出会えたこと、幸せに思います。感謝♡感謝です。
- ・普段、同年代の双子と知り合うことが多いので、もう少し成長した年代の双子の方とも知り合ってみたい。
- ・仲の良い双子、仲の悪い双子、性格の似ている双子、似ていない双子、一卵性でも個々の個性がある、やっぱり同じとかいろいろなケースの話が聞きたいです。



父親グループ・母親グループに分かれて交流
GWテーマ：仕事と育児の両立、きょうだいの平等など

◆ GWの感想

- ・さくばらんに色々なお話を聞いて参考になりました。
- ・お仕事しているママに普段合わないので、色々とお話できてありがたかったです。同じような環境の人と話せて楽しかったです。



学生の声(第14回ボランティア参加学生) ※50名の学生が参加



◆ 育児の大変さが分かった

- ・育児がどれだけ大変かということをも身を持って体感することができました。
- ・(子どもとの)体力の違いも痛感し、親御さんへの尊敬がさらに強まりました。

◆ 子どもの発達、子どもとの関わり方について

- ・ふたごとはいえ、同じ行動をする子、興味の方向が違って別行動をする子、様々な子がいることを改めて確認させられた。
- ・子どもの創造力や発想力から多くのことを学ばせてもらいました。

◆ 子どもに癒された、嬉しかった

- ・慣れるまでに時間がかかって心が折れそうなどきもありましたが、中盤から絵本やお絵かきで楽しく遊んでくれてとても嬉しくなりました。

◆ 授業や実習での学びとのつながりを感じた

- ・分かりやすい言葉選び、声かけや絵の多い絵本を見せるなど、年齢別の配慮は大切だなと思いました。
- ・小児看護学の延長戦のような感覚でできました。

